施工説明書

INAX

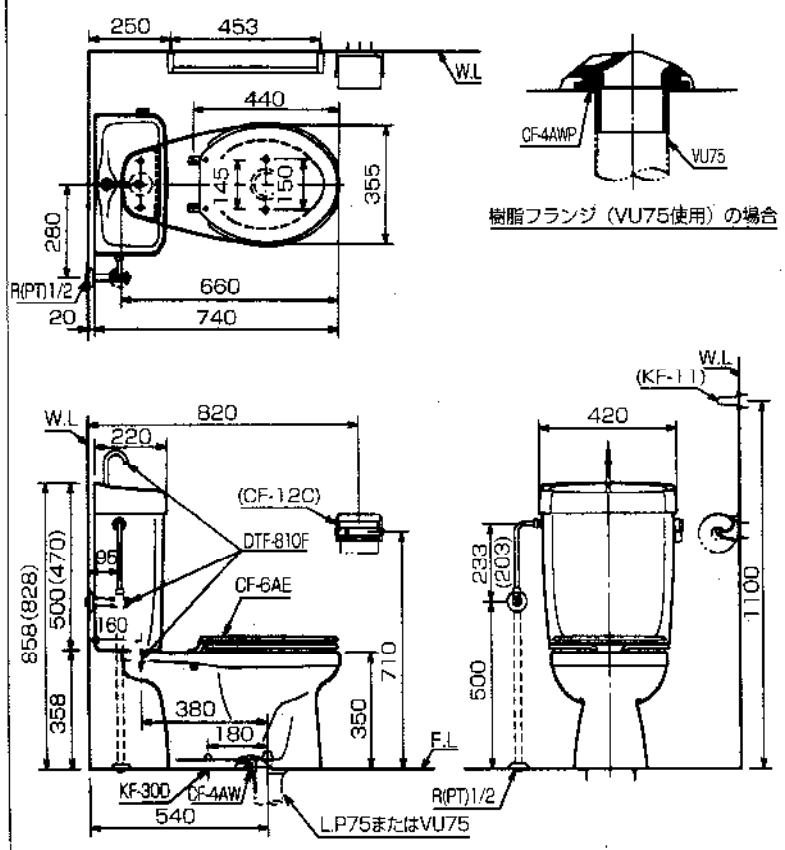
密結式洋風便器

※品番は代表的なものを例示
C18S, DT810, F
C20S, DT810, F(20S)

商品の機能が100%発揮されるよう本説明書の内容を十分理解のうえ正しく施工してください。
なお同梱の「取扱説明書」は施工完了後お客さまにお渡しください。

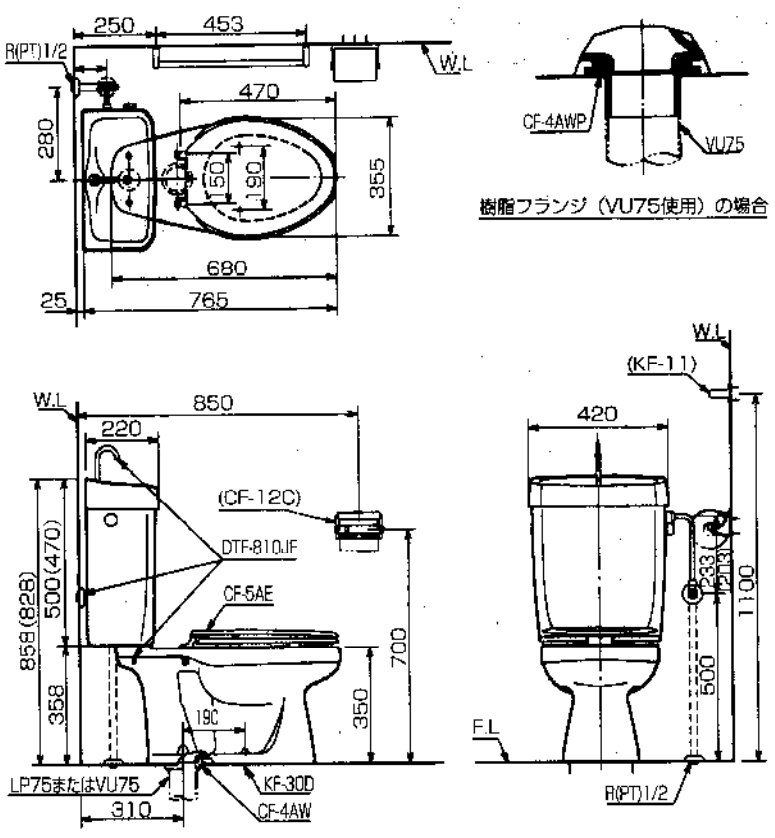
■施工完了図

C-18S



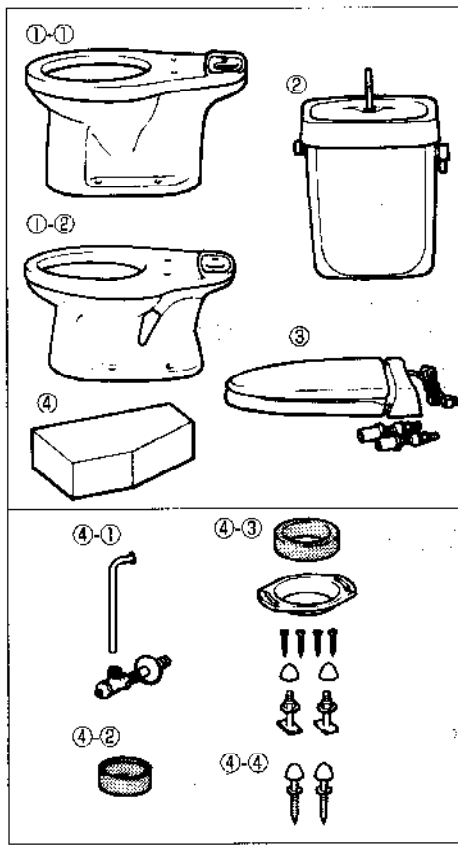
※床給水の場合、給水管が破線表示となります。
※紙巻器(CF-12C)、タオル掛け(KF-11)は別途用意ください。
※（ ）内寸法は普通ロータンクの場合を示します。

C-20S



※床給水の場合、給水管が破線表示となります。
※この図は右給水の場合を示します。
※紙巻器(CF-12C)、タオル掛け(KF-11)は別途用意ください。
※（ ）内寸法は普通ロータンクの場合を示します。

■梱包内訳



①-① 便器（C-18S）
①-② 便器（C-20S）
② ロータンク
③ 便座
④ 付属金具
④-① 止水栓
④-② 密結パッキン
④-③ フランジ
④-④ 便器固定用木ねじ

※この説明書はC-18Sにて説明させていただいていますが、C-20Sの場合も全く同様です。

■施工方法

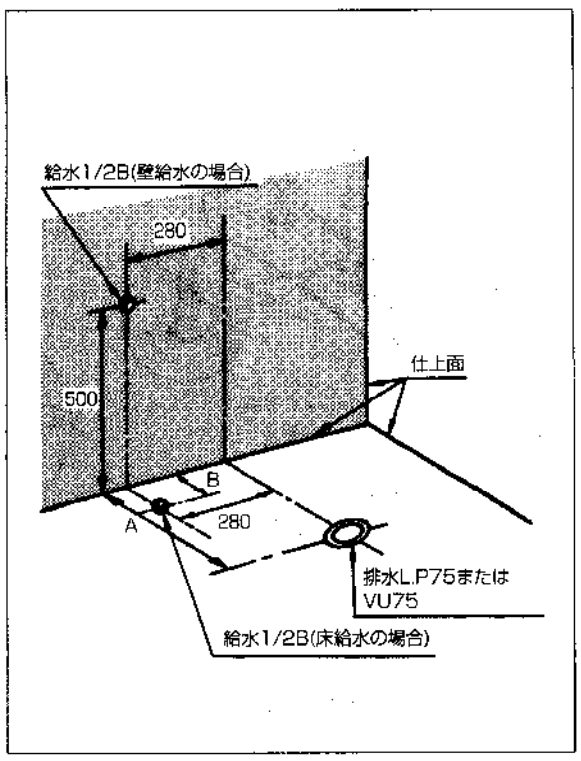
1 給排水の位置決め 取出し

施工完了図に従って給水管、排水塩ビ管を取り出します。

◆注意点

●便器取付前に給水管、排水塩ビ管に異物が混入しないように、
給水管にはプラグ(LF-7T)
排水管にはビニール袋等
でカバーしてください。

	A寸法	B寸法
C-18S	540	95
C-20S	310	100



2 床フランジの取付け

〔金属フランジの場合〕
床フランジを木ねじにて床面に固定した後、排水管を床仕上面上約15mmにて切断し、床フランジのテーパー面に沿ってツバを広げます。

◆注意点

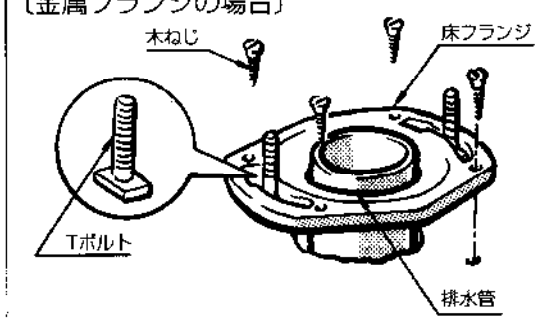
●床フランジの取付けは必ず床仕上面に行ってください。

〔樹脂フランジの場合〕
排水塩ビ管を床仕上面にて切断し、排水塩ビ管の内側面と床フランジ差込部の外側面に塩ビ用接着剤を塗布した後、床フランジ差込部を排水塩ビ管に差し込み、木ねじにて床に固定します。

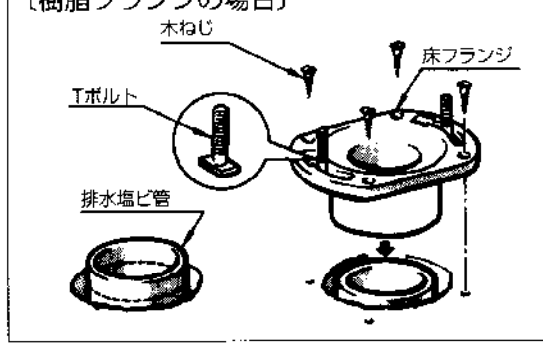
◆注意点

●床フランジを仮付けして木ねじ用下穴をあけておいてください。
●床フランジの取付けは必ず床仕上面上に行ってください。

〔金属フランジの場合〕



〔樹脂フランジの場合〕



3 Tボルトの位置決めと便器の仮据え

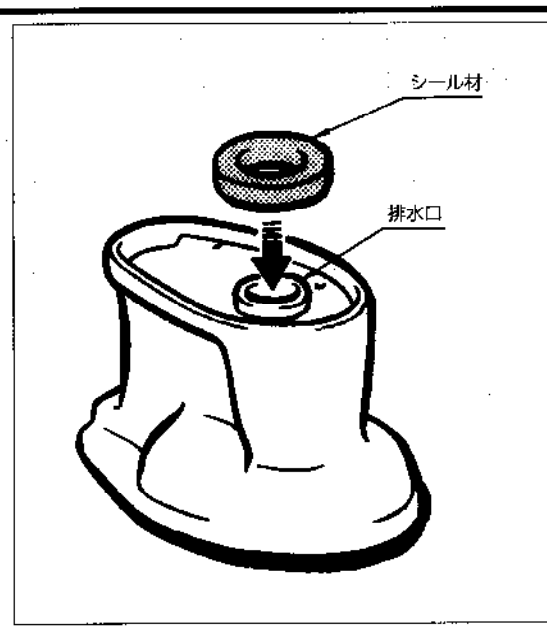
床フランジにTボルトを組み込み、便器を仮据えしてTボルトの位置決めおよび便器固定用木ねじの下穴をあけます。

4 シール材の取付け

便器の排水口にシール材を取り付けます。

◆注意点

●排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
●シール材は便器の底面および側面にしっかり密着させてください。

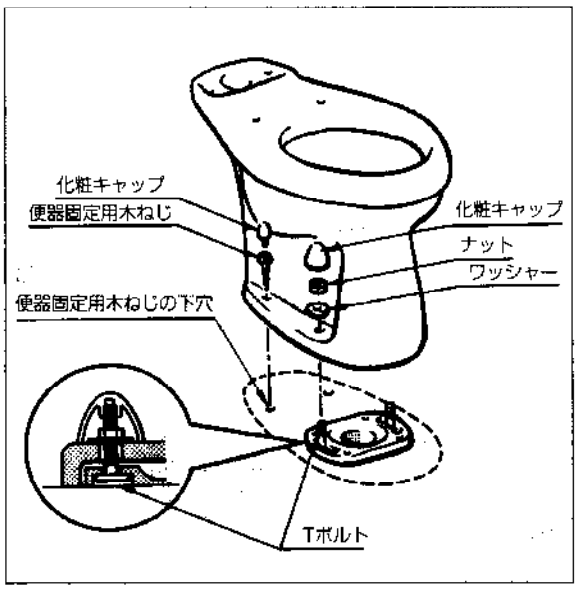


株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
東北支社 ☎022-301-1701
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎028-637-3379
北陸支社 ☎076-264-1710
西東京支社 ☎0425-27-3038
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎06-539-3500

5 便器の取付け

便器を床に取り付けます。

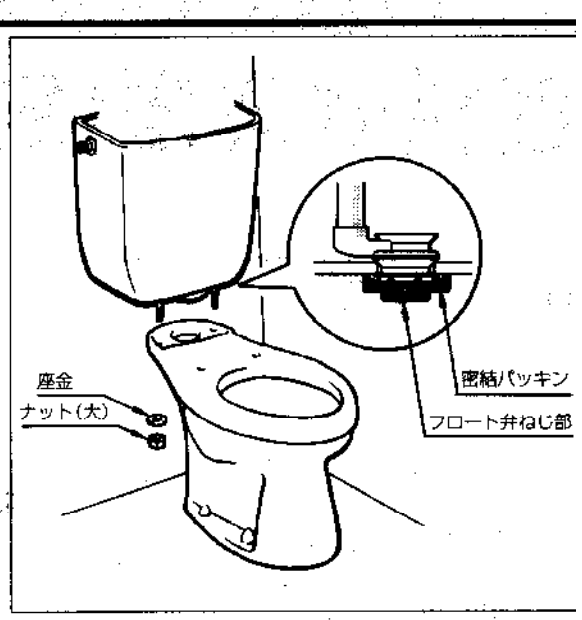


6 ロータンクの取付け

ロータンクの底面側のフロート弁ねじ部に密結パッキンをはめ込んだ後、便器に固定します。

◆注意点

- ●密結パッキンは必ずフロート弁ねじ部にはめ込んでください。
- ●便器への取付けは肉厚の厚いナット（大）にて行ってください。
- ●ナットの締付けは片利きのないように左右交互に行ってください。

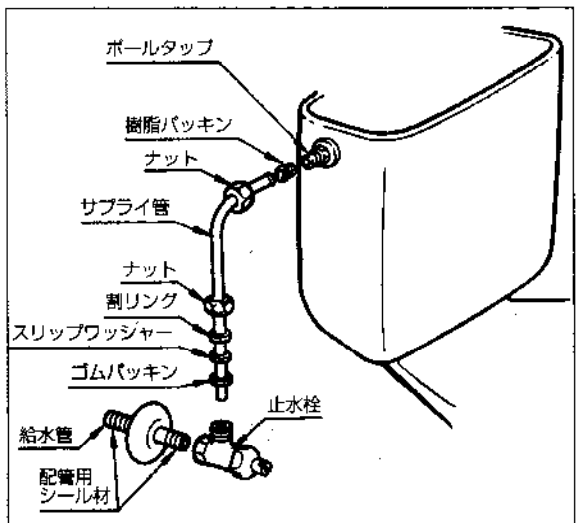


7 給水管への接続

壁面へ取り出した給水管に止水栓を取り付け、ボールタップと止水栓をサプライ管にて接続します。

◆注意点

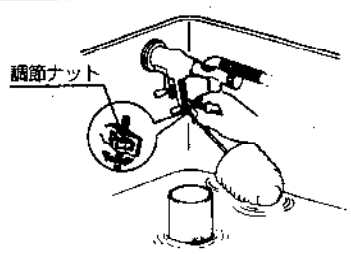
- ●止水栓を給水管に取り付ける際にはねじ部にシールテープ等のシール材を巻きつけてください。
- ●サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。
- ●サプライ管の止水栓への接続は現物合わせにて止水栓への差込しろとして10～15mm確保して切断してください。



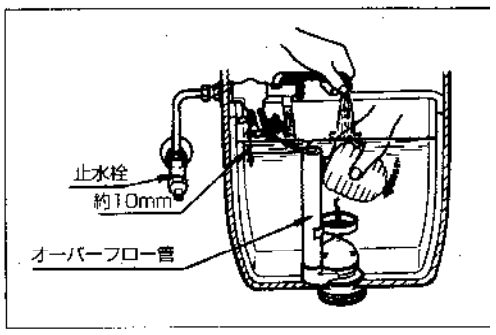
止水不良等の不具合が生じる恐れがありますので、ボールタップの浮玉がスムーズに動くように、ボールタップ本体を保持しながら取り付けてください。

8 止水位の確認 止水栓の調節

給水終了後のロータンク内水位がフロート弁のオーバーフロー管のWL表示に合っていることを確認します。
ロータンク内の止水位がオーバーフロー管のWLに合っていない場合は下図の要領で水位調節をします。



調節ナットを右方向に回せば水位が上がり、左方向へ回せば水位は下がります。



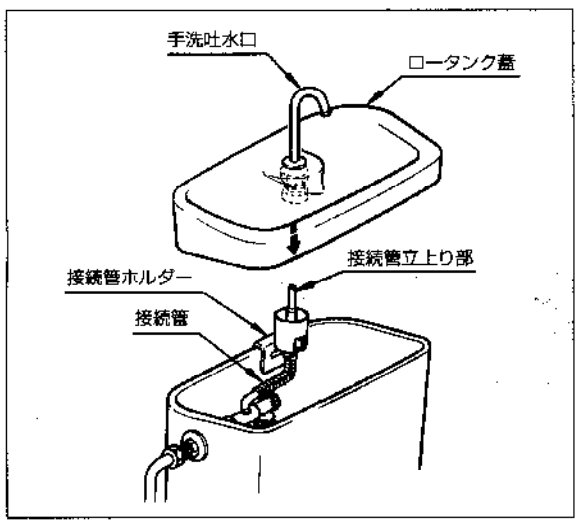
フロート弁のオーバーフロー管は万一、ボールタップが故障した際にロータンクから水があふれないように、便器に水を逃すために設けられていますが、その能力には限界があります。
ボールタップの浮玉を押し下げ、水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓を調節します。

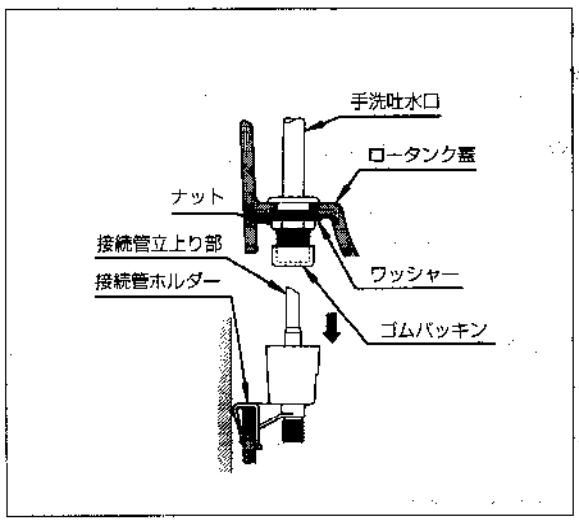
9 接続管、ロータンク蓋の取付け

接続管を接続管ホルダーにはめ込み、接続管ホルダーをロータンク後部壁面に挟み込み、接続管立上り部が手洗吐水口下端部に入り込むようにしてロータンク蓋を載せます。

◆注意点

- ●ロータンク蓋が浮き、ぐらつく場合は接続不十分ですので、再度、差し込み直してください。





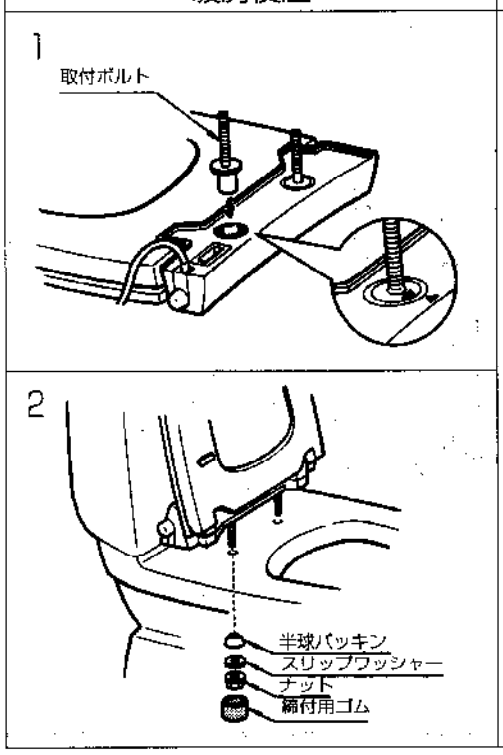
10 便座の取付け

〔暖房便座の場合〕
必ず便座に取付ボルトを差し込んでから便器に取り付けます。

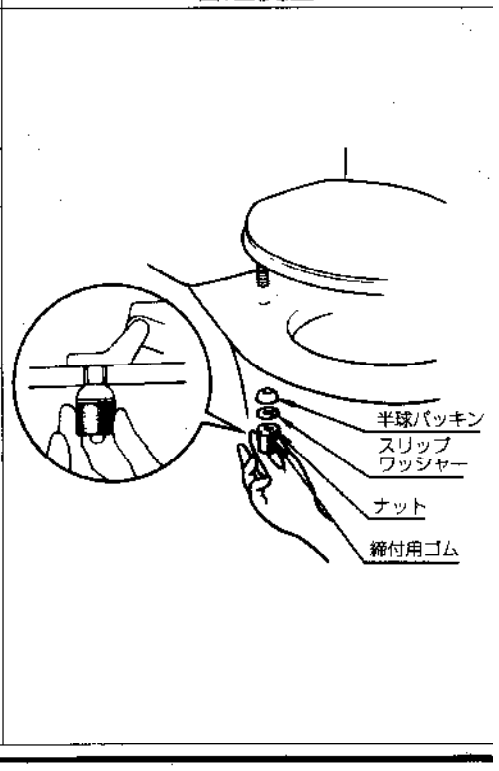
1. 取付ボルトの△印と便座ボックス裏側の▽印が合うように取り付けてボルトを差し込みます。
2. 便座を便器の取付穴に差し込み、下から半球パッキンとスリップワッシャーを取り付け、ナットで締め付けます。

〔普通便座の場合〕
図のようにナットの六角部に締付用ゴムをはめ込みガタのないように十分締め付けます。

暖房便座



普通便座



11 水漏れ点検

洗浄ハンドルを操作して便器鉢内を洗浄し、各接続部の漏水がなく、鉢内洗浄が良好であることを確認します。
同時にフロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。

◆注意点

- ●排水接続部は数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。
- ●鉢内洗浄の良否は、長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が1回の洗浄で排出できるかどうかで確認してください。